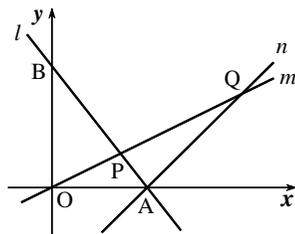


塾技 19 座標平面上の三角形 (3)

問題 (難易度 A)

右の図で、直線 l は方程式 $4x + 3y = 12$ のグラフで、 x 軸、 y 軸とそれぞれ点 A 、 B で交わる。直線 m は関数 $y = ax$ ($a > 0$) のグラフで、直線 l と点 P で交わる。また、直線 m 上に y 座標が正の点 Q があり、2 点 A 、 Q を通る直線を n とする。このとき、次の各問いに答えなさい。



- (1) 点 B の座標を求めなさい。
- (2) 線分 OA の中点を通り、直線 l に平行な直線の式を求めなさい。
- (3) $a = \frac{2}{3}$ のとき、三角形 APQ と三角形 OBP の面積が等しくなるような直線 n の式を求めなさい。 (三重県)

解

- (1) $4x + 3y = 12$ を y について解くと、

$$4x + 3y = 12$$

$$3y = -4x + 12$$

$$y = -\frac{4}{3}x + 4 \quad \text{よって、} \mathbf{B(0, 4)}$$

- (2) 点 A は、直線 l と x 軸との交点なので、 l の式に $y = 0$ を代入して、

$$4x + 0 = 12$$

$$x = 3 \quad \text{よって、} \mathbf{A(3, 0)}$$

OA の中点を M とすると、「塾技 6 1」より、 M の座標は、

$$M\left(\frac{0+3}{2}, \frac{0+0}{2}\right) = \left(\frac{3}{2}, 0\right)$$

一方、求める直線は l に平行なので、 $y = -\frac{4}{3}x + b$ とおける。 $M\left(\frac{3}{2}, 0\right)$ を代入して、

$$0 = -\frac{4}{3} \times \frac{3}{2} + b \quad b = 2 \quad \text{答} \quad \mathbf{y = -\frac{4}{3}x + 2}$$

- (3) $\triangle APQ = \triangle OBP$ となるためには、 $\triangle OQA = \triangle OBA$ となればよい。

$(\triangle OQA = \triangle OPA + \triangle APQ, \triangle OBA = \triangle OPA + \triangle OBP$ より、 $\triangle OPA$ が共通なので、 $\triangle OQA = \triangle OBA$ となれば、 $\triangle APQ = \triangle OBP$ となる。

「塾技 19 (2)」より、 $OA \parallel BQ$ 、すなわち Q の y 座標が 4 となればよい。 Q の x 座標は、 $y = 4$ を直線 m の式に代入して、 $4 = \frac{2}{3}x \quad x = 6$

以上より、求める直線 n の式は、2 点 $A(3, 0)$ 、

$Q(6, 4)$ を通る直線となるので、 $y = ax + b$ に 2 点をそれぞれ代入して、 a 、 b の連立方程式を解くと、

$$a = \frac{4}{3}, b = -4 \quad \text{答} \quad \mathbf{y = \frac{4}{3}x - 4}$$

